

# 合田外科新聞

<https://www.godageka.jp>

令和3年4月号（第96号）

電話：0797-71-2132／ファックス：0797-74-1430

## 最近の話題：新型コロナウイルス感染症(第5報)

いよいよ日本でも新型コロナウイルスに対する予防接種が始まりました。予防接種に用いる薬剤がワクチンで、ワクチンを投与することによって人は免疫（抵抗力）を獲得し、病原体の感染を予防したり重症化を防いだりできるようになります。現在、世界中で10種類近い新型コロナウイルスに対するワクチンが開発中、あるいは既に実用化されていますが、日本ではまずアメリカの製薬大手のファイザー社とドイツのバイオ医薬ベンチャーのビオンテック社が共同開発したワクチンが認可され、実際に使われ出しています。従来のワクチンは大きく生ワクチンと不活化ワクチンに分けられますが、何れも病原体自体を利用して免疫を誘導するものでした。一方、今回実用化されたワクチンはmRNAワクチンと呼ばれ、病原体自体ではなく、蛋白質を作り出す指令書に相当するmRNAという物質を投与し、新型コロナウイルスの蛋白質の一部を人の細胞に作らせることによって免疫を誘導します。この型のワクチンが実用化されるのは初めてで、有効性・安全性が懸念されていましたが、既に先行して投与されている諸外国のデータを見ると、有効性は非常に高く（90%以上）大きな副作用もないようです。もちろんワクチンですから接種部位の痛みや腫れ、また頭痛や倦怠感などインフルエンザワクチンでも見られる反応はあり得ますが、長引くものではありません。但しアナフィラキシーと呼ばれるアレルギー反応が起こる割合が比較的高いようですので、アレルギーの発作を起こしたことがある方は注意が必要で、場合によっては接種を控えた方がいいでしょう。それ以外の方はあまり心配し過ぎることはありません。mRNAは非常にデリケートな物質で-70度で保管する必要があります。ですからこのワクチンは普通のワクチンのように何時でも何処でも簡単に接種できる訳ではありません。またワクチンは5人単位で瓶詰めされているので、廃棄を出さないように完全予約制で接種を行うことになります。



## 宝塚市での新型コロナワクチン状況

宝塚市には3月中旬に一箱（975人分）のワクチンが第一弾として割り当てられました。政府の優先順位ではまず医療従事者からの接種となっていますが、市内には医療従事者が6000人以上存在し、全く賄えません。



そこで新型コロナ患者を診察している病院の中から更に直接に患者さんの対応に当たる方を選んで接種を行いました。この後、医療従事者の接種を行いながら高齢者・基礎疾患のある方・一般の方と接種を進めて行くこととなります。高齢者用のワクチンは4月中旬以降に割り当てられる予定ですが、最初は入荷量が極めて限られており、高齢者施設に入居されている方から接種が開始となります。これは高齢者施設でクラスターが多発しているためです。5月から公民館などを利用した集団接種が始まり、6月からは診療所などでの個別接種が始まる予定です。記事にも記載しましたが**集団接種・個別接種共に完全予約制で、接種は3週間の間隔をあけて2回行います**。当院でもかかりつけの患者さんのためにワクチン接種を予定しています。宝塚市が設置する**予約センター**で予約をとって頂き、それに合わせてワクチンが市から配送されることになります。ワクチンはすぐに無効になりますので予約は厳守して下さい。

## 健診・検診開始

4月より令和3年度の健診・検診が始まります。当院では**宝塚市国民健康保険特定健康診査（メタボ健診）**と高齢者の方の**宝塚市後期高齢者健康診査**を行います。対象の方には宝塚市より案内状が届きますのでお持ち下さい。また**肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診**も行いますので合わせて受診下さい。コロナ禍でメタボ健診やがん検診を受けそびれたために、生活習慣病が悪化した例やがんの進行を招いた例が報道されていますので、くれぐれもご注意下さい。



### 【編集後記】

緊急事態宣言は解除されましたが、変異型ウイルスによるリバウンドが懸念されます。東京オリンピックは大丈夫でしょうか？ワクチンは変異型ウイルスにもある程度有効なようですので、是非とも受けましょう。

院長 合田 潔

# 合田外科新聞

<https://www.godageka.jp>

令和3年7月号 (第97号)

電話：0797-71-2132 / ファックス：0797-74-1430

## 最近の話題：新型コロナウイルス感染症(第6報)

宝塚市は新型コロナウイルスワクチンに関し、65歳以上の高齢者を対象とし、5月24日より集団接種を、6月4日より医療機関での個別接種を開始しました。当院でも5月初旬からかかりつけの患者様の仮予約を取り出し、5月10日より正式に予約を受け付け始めましたが、**集団接種のコールセンターに電話が繋がらない、インターネットの予約ができない**などの不具合が続出し、大混乱となりました。特に5月10日の集団接種受付初日には当院での予約を希望される方が100名以上殺到され、通常の診療に大きな支障をきたし、診察に来られた方には多大なご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。翌日より急遽、午前・午後の予約を10名ずつに制限しましたが、中には10時間近く並ばれる方もおられ、高齢の方の体調に不安がありましたので、予約の受け付けは数日で中止致しました。このような状況は宝塚市内全域で数週間も続き、多くの医療機関では問い合わせの電話の対応に追われ、一般診療が妨げられたと伺っています。当初はワクチンの入荷量が限られていましたが5月の中旬以降は国からの供給が大幅に増加し「**高齢者の方全員に行き渡るワクチンはあるので、多少の遅れはあるかもしれないが、心配しなくても必ず接種を受けることができる**」と口を酸っぱくして予約を求めて来られる方に説明しておりましたが、理屈は承知されていても近所の誰それが予約できたとなると焦りが募る人間心理のためでしょうか、多くの方が焦燥されておられました。全国的にワクチン予約に関して大きな混乱が見られましたが、菅首相が高齢者接種を急がせるために総務省を通じて地方自治体に圧力をかけたこともあり、宝塚市でもこのような状況を改善するために集団接種の拡充に取り組み、また個別接種を増やすよう医療機関に要請があり、6月末の時点では、少なくとも高齢者の第1回目の接種は7月末までに終わる目処が立ったようです。





## 6 4 歳以下の新型コロナワクチン

6 5 歳以上の高齢者の方の新型コロナウイルスワクチン接種は「最近の話題」欄にも書いていますように、当初は大混乱が見られましたが、接種自体は順調に進み、概ね7月末を目処に1回目の接種は完了できそうです。引き続き7月初旬には6 4 歳以下の方に接種券が送付され、基礎疾患（持病）のある方から接種を進めることになっています。基礎疾患は自己申告制で、何か証明が必要な訳ではありませんので、ご自分で持病があると思われる方は遠慮せずにワクチンの予約をして下さい。当院では高齢者の方の予約がほぼ落ち着きましたので、1 6 歳以上6 4 歳以下の方の予約を随時受け付けます。7月初旬の時点では第1回目接種として7月31日～8月5日に100名程、8月27日～9月16日に350名程の予約枠を設定していますので、接種券を持って予約受付までお越し下さい。なお他所でより早く接種できるようになったからという理由でのキャンセルはワクチン廃棄につながり非常に迷惑となりますのでご遠慮下さい。



## お盆休み

お盆休みとして例年通り8月13日～15日休診を致します。8月14日（土）のブロックはございませんのでご了承下さい

| 日          | 月           | 火          | 水          | 木          | 金          | 土          |
|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 8/8<br>山の日 | 8/9<br>振替休日 | 8/10<br>診療 | 8/11<br>診療 | 8/12<br>診療 | 8/13<br>休診 | 8/14<br>休診 |
| 8/15<br>休診 | 8/16<br>診療  | 8/17<br>診療 | 8/18<br>診療 | 8/19<br>診療 | 8/20<br>診療 | 8/21<br>診療 |



### 【編集後記】

いよいよ新型コロナウイルスワクチンの接種が進み出しました。パンデミックが始まってからもう一年半が経ちました。皆さんもとても疲れているでしょうが、もう少しの辛抱です。一緒に頑張りましょう。

院長 合田 潔

# 合田外科新聞

<https://www.godageka.jp>

令和3年10月号 (第98号)

電話：0797-71-2132 / ファックス：0797-74-1430

## 最近の話題：新型コロナウイルス感染症(第7報)

なかなか新型コロナウイルスの感染が収まりません。特に今年の夏のいわゆる第5波の感染は凄まじいものでした。危惧されていた通り、東京オリンピックの開催前には緊急事態宣言を出さざるを得ない状況に陥り、東京では7月12日から、埼玉・千葉・神奈川・大阪では8月2日から、そして兵庫・京都などでは8月20日から宣言が出されました。当初は9月12日までの見込みでしたが、解除ができず、



9月末までの延長となりました。今回の第5波ではワクチン接種がある程度進んでいた高齢者の感染は抑えられ、40～50歳代の比較的若いワクチン未接種者の感染・重症化が目立ちました。宝塚市でもピーク時には自宅待機患者が120名近くになり、保健所が対応困難な状況でしたが、医師会有志による往診やPCR検査への出務などの奮闘で何とか乗り越えることができました。さてこのように有効性が高いワクチンですが、宝塚市では高齢者に対する個別接種が積極的に行われました。引き続き64歳以下の世代に対しても個別接種を中心に行われる予定でしたが、前回第97号の当新聞発行直後に国からのワクチン供給に滞りが生じました。ワクチン供給が不安定となったために、個別接種での予約管理が不可能となってしまう、結局宝塚市では全て市が管理する集団接種で行うこととなりました。現在は公民館に加えて逆瀬川のアピアに大規模な接種会場を設置し、土日も含めて接種を行っています。私(院長)を始め医師会の先生方が問診・接種に協力しています。接種は順調に進んでおり11月中には12歳以上の市民の80%が2回接種を終える見込みです。なおインフルエンザのワクチンと時期が重なりますので接種の間隔には十分ご注意ください。厚労省よりの最新の発表では3回目接種の実施が正式決定されたそうです。具体的な情報は未だですが、高齢者は令和4年の2月以降、順次接種予定となっています。

## インフルエンザワクチンのお知らせ

依然として新型コロナウイルスの感染が続いていますが、今年もインフルエンザワクチンの時期がやって来ました。昨シーズンはインフルエンザワクチンを接種される方が1996年以来最多となったそうですが、新型コロナウイルスの感染と区別しにくいインフルエンザを出来るだけ予防しておこうと皆さんお考えになったことと思われます。



ワクチン接種の効果であるかははっきりしませんが、結果として昨シーズンはインフルエンザの流行は全く見られませんでした。今シーズンはワクチン供給量が昨年よりは減少する見込みです。とはいえ、例年並みには供給されるそうですので心配し過ぎることはないでしょう。但し、特に10月中は出荷が遅れる様ですので、当院ではまず高齢者を優先して接種を行います。**10月1日（金）**から65歳以上の高齢者の接種を開始し、高齢者以外の一般の方には**10月15日（金）**から接種を行います。65歳以上、あるいは60歳以上で特定の疾患のある宝塚市民の方は1500円で接種可能です。また近隣市の方も市役所で証明書を発行してもらって来て頂ければ1500円で接種が可能です。なお一般の方の任意接種の料金は下表の通りとなっています。当院では幼児は**5歳以上**から接種を行います。在庫次第となりますが**予約は不要**です。

|            | 接種回数 | 1回目料金 | 2回目料金 |
|------------|------|-------|-------|
| 65歳以上      | 1回   | 1500円 |       |
| 13歳以上65歳未満 | 1回   | 3500円 |       |
| 5歳以上13歳未満  | 2回   | 3500円 | 3000円 |



### 【編集後記】

新型コロナウイルスのワクチン接種は、混乱もありましたが、現在は概ね順調な様です。当初はワクチン接種の副反応を心配していましたが、既に日本国民の半数以上が2回接種を終えており、安全性は高いと思われます。未だの方は是非接種しましょう。

院長 合田 潔



# 合田外科新聞

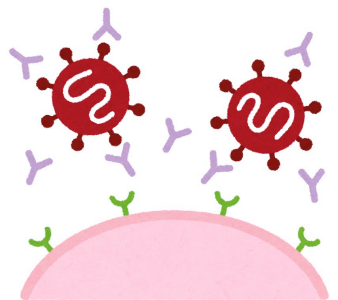
<https://www.godageka.jp>

令和4年1月号 (第99号)

電話：0797-71-2132 / ファックス：0797-74-1430

## 最近の話題：新型コロナウイルス感染症(第8報)

昨年の夏から猛威を振るったδ株による第五波が何とか沈静化し、ようやく緊急事態宣言が解除されたかとい息ついたら、今度は新しい変異ウイルスである**オミクロン株**が出現しました。オミクロン株は2021年11月に南アフリカから初めて報告された新変異株で従来の株とは大きく特徴が異なっています。具体的にはウイルスが人間の細胞に感染する際に用いられる突起状の**スパイク**と呼ばれる構造に多くの変異が見られるのです。ここに変異が生じるとウイルスが細胞に感染する能力が高まる恐れがあり、事実**オミクロン株はδ株よりも感染力が強く**、南アフリカやイギリスなどではδ株を駆逐しつつあるようです。またスパイクは多くのワクチンが標的としている構造なので、変異が生じるとワクチンによって出来た抗体が効きづらくなる恐れもあります。ワクチンによって誘導される免疫は異物に直接作用する抗体だけではなく、免疫細胞が関与する細胞性免疫もあり、例えば変異株であったとしても重症化予防の効果は望めます。しかし感染や発症を予防するには抗体が大きな役割を果たしているので、今までの2回ワクチン接種では時間の経過と共に抗体レベルが下がり、感染してしまう可能性が高まります。幸い**オミクロン株は感染力こそ高いものの、入院したり重症になったりする割合はδ株より低い**ようです。これはδ株が主に肺で増殖するのに対してオミクロン株は主に気管支で増殖し、いわば風邪ウイルスに近くなっているからとも考えられます。しかし重症化率が低くても非常に大勢の方が罹ると中には重症になる方も出てきますので、罹らないにこしたことはありません。油断大敵です。(右表は毎日新聞引用)



### オミクロン株の主な特徴

|                                                                                      |                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 入院リスク                                                                                | 40～45%低下<br>(英インペリアル・カレッジ・ロンドン) |
|  | 3分の2低下<br>(英エディンバラ大など)          |
|                                                                                      | 70～80%低下<br>(南アフリカ国立伝染病研究所)     |
| 1人の感染者が他の人にうつす期間                                                                     | 短く、伝播力が高い可能性<br>(韓国疾病管理庁)       |
| 1人が平均何人に感染させるかを表す「実効再生産数」                                                            | 4.2倍<br>(京都大など)                 |
| 増殖する速さ                                                                               | 気管支で70倍、<br>肺で10分の1以下<br>(香港大)  |

※デルタ株との比較。カッコ内は出典

### 3回目コロナワクチン接種

宝塚市の広報にも既に掲載されていますが、3回目の新型コロナワクチンの接種が予定されています。ワクチン接種で出来た抗体は時間の経過と共に低下し、感染や発症を予防する効果が薄まりますので追加接種を行う訳です。海外では2回接種後に行動の規制を緩めた結果、再度感染が拡大している国が見られ、イギリスは3回目接種を前倒しで進め、また世界で最もワクチン接種が速かったイスラエルでは3回目接種はもちろん4回目接種も始まっています。日本では当初は2回目接種から8ヶ月後以降に3回目接種を開始する予定でしたが、海外でのオミクロン株の爆発的な拡大を受け、6ヶ月後以降で出来るだけ前倒しを図ろうとしています。宝塚市ではまず65歳以上の高齢者に関しては次のような手順で行われます。市より追加接種対象者に接種券を同封した案内書（封書）が送られてきます。接種券にはあらかじめ市が指定した接種場所・日時が記載されており予約は不要です。記載に従って接種を受けて下さい。2回目接種を個別医療機関で受けられた方はその医療機関で、集団接種で受けられた方は集団接種となります。予約の変更は可能ですが、医療機関では行えませんので市のコールセンターに電話して頂く事になります。ワクチンは個別接種ではファイザー社製を、集団接種ではモデルナ社製を使用します。



### インフルエンザワクチン

今シーズンのインフルエンザワクチンの接種は昨年12月初旬にて終了致しました。今シーズンはインフルエンザワクチンの製造・入荷量が少なく、ご希望をされても接種できない場合が多々あり、ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございませんでした。



#### 【編集後記】

新型コロナウイルスが中国の武漢で報告されてから丸2年が経ちましたが、依然として収束していません。それでもワクチン接種が順調に進み、変異株こそあれ、一抹の光明が見えて参りました。明けない夜はありません。もう少しの辛抱です。

院長

合田 潔



# 合田外科新聞

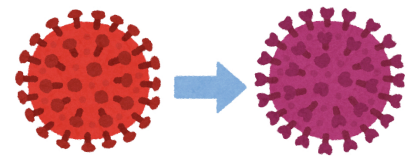
<https://www.godageka.jp>

令和4年4月号 (第100号)

電話：0797-71-2132 / ファックス：0797-74-1430

## 最近の話題：新型コロナ感染症(第9報)

新型コロナウイルスが2019年末に中国で最初に報告されてから既に4年目に突入していますがなかなか治まる気配を見せません。様々な変異を繰り返し、ワクチンから逃れつつ、依然として勢力を広げています。今年の始めからはオミクロン株の感染が爆発的に増加しました。今回のいわゆる第6波は従来とは様相が違い、身近なところで感染が広がりました。重症化はしにくいものの、感染力が高く、保育所・幼稚園・小中学校などで学級閉鎖や学年閉鎖が相次ぎました。もはや新型コロナは特別な病気ではなく、ありふれた病気となった感がありますが、高齢者や持病を持っている方では依然として脅威であり、宝塚でも老人施設や病院でクラスターが発生して、重篤化した方も見られました。患者数の急増に保健所の対応が追いつかず、宝塚市医師会から私(=院長)も含めて保健所業務の応援に出動しました。検査のキットも不足し、すぐに検査が出来ないこともありましたが、ようやく落ち着いてきたようです。2月1日から開始した3回目ワクチン接種も順調に進み、3月中旬には当院での高齢者接種は終了しました。引き続き64歳以下の方の3回目接種も行っていますが、**宝塚市のホームページから当院の予約を行うことが可能**です。最近、コロナ感染後の後遺症が段々と明らかになってきています。子どもで軽症の感染であってもかなりの頻度で後遺症が現れるようです。また現時点ではコロナ感染が判明すると、例えば軽症であっても行動制限・就労制限が強く、同居している家族の方は濃厚接触者とみなされますので、3回目ワクチンはやはり接種しておいた方がいいでしょう。欧州ではオミクロン株による感染で重症者や死亡者があまり増えていないことより、新型コロナは普通の風邪扱いになりつつあります。日本ではいきなりそう見なすのは難しいですが、ワクチンを利用しながら共存を考える時期になりつつあるようです。



## 健診・検診開始

4月より令和4年度の健診・検診が始まります。当院では宝塚市国民健康保険特定健康診査（メタボ健診）と高齢者の方の宝塚市後期高齢者健康診査を行います。対象の方には宝塚市より案内状が届きますのでお持ち下さい。また肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診も行いますので合わせて受診下さい。コロナ禍でメタボ健診やがん検診を受けそびれたために、生活習慣病が悪化した例やがんの進行を招いた例が報道されていますので、是非毎年健診・検診を受けて、病気の早期発見に努めましょう！



## 湿布薬に関して

4月から湿布薬の処方枚数が変わります。今まで1回当たり最大70枚まで処方が可能でしたが、今度からは1回当たり最大63枚に減らされます。従来から湿布薬の処方に対しては医療費を支払う健康保険組合から批判があり、保険の適応外にすべしとの意見もありました。今回も当初は1回当たり35枚までと厳しく制限されるところでしたが、日本医師会の働きかけにより63枚まで処方可能となりました。患者様にはご不便をおかけ致しますが、ご了承下さい。



## 64歳以下3回目コロナワクチン接種

64歳以下の方の3回目コロナワクチン接種の予約は下記の宝塚市のサイトよりお願い致します。急に時間がとれてワクチン接種を行いたい場合には、余剰ワクチンがあることがありますので、直接当院にご連絡下さい。

<https://www.covid19-vaccine.mrso.jp/282146/VisitNumbers/visitnoAuth/>



### 【編集後記】

当新聞、今号でついに100号となりました。2000年の開業当初より発行を始めましたので、20年以上続いています。これもひとえに読んで下さる皆様のおかげです。これからも200号を目指してがんばりますので、宜しくお願い致します。

院長

合田 潔